



2026 年 10 月 30 日

各 位

会 社 名 日本特殊陶業株式会社
代表者名 代表取締役社長 鈴木 啓司
(コード: 5334、東証プライム・名証プレミア)
問合せ先 IR/SR 室長 内川 みどり
(TEL. (052) 218-6399)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の、業績動向を踏まえ、2026 年 4 月 30 日に公表した業績予想を修正いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2027 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正 (2026 年 4 月 1 日～2027 年 3 月 31 日)

	売上収益	営業利益	税引前利益	親会社の所有者に 帰属する当期利益	基本的 1 株当たり 当期利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	790,000	150,000	150,000	105,000	267.50
今回修正予想 (B)	810,000	160,000	160,000	125,000	320.50
増減額 (B－A)	20,000	10,000	10,000	20,000	—
増減率 (%)	2.5%	6.7%	6.7%	19.0%	—
(ご参考) 前期実績 (2026 年 3 月期)	731,207	138,158	165,484	112,892	285.21

※ 当社は、2026 年 7 月 31 日に公表しました「株式分割及び株式分割に伴う定款の一部変更並びに期末配当予想の修正に関するお知らせ」に記載のとおり、2026 年 10 月 1 日付で普通株式 1 株につき 2 株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、基本的 1 株当たり当期利益を算定しております。なお、当該株式分割による株式総数の増加を考慮しない場合の基本的 1 株当たり当期利益は、前回発表予想では 535 円 00 銭、今回修正予想では 641 円 00 銭、前期実績では 570 円 43 銭となります。

2. 修正の理由

当中間連結会計期間の業績は、主要製品の原材料である貴金属の価格変動や、中東情勢および中国による輸出規制の影響など、引き続き注意すべき状況は有るものの、為替レートが円安で推移したこともあり、堅調に推移しています。

このため、2027 年 3 月期通期の連結業績予想は、2026 年 8 月に公表しました Wells 社自動車部品事業の撤退にかかる損失等の計上を考慮しても、2026 年 4 月 30 日に公表した業績予想を上回る見込みとなりました。業績見通しにおける下期の為替レートは、1 US \$ = 150 円、1 EURO = 180 円を前提とします。

また、第 1 四半期決算に引き続き、この第 2 四半期 (中間期) 決算においても、国際会計基準 (IFRS) に基づき当社が保有する一部投資有価証券の公正価値を測定した結果、金融収益として評価益を計上いたしました。この有価証券の公正価値を構成する一部要素の市場価格が第 2 四半期の間に変動したことにより認識されましたが、当該市場価格はその後下落するなどの変動が続いており、評価益は今後の四半期決算において変動することが想定されます。このため、2027 年 3 月期通期の連結業績予想の修正においては、当該有価証券の評価益について確からしい前提を置く事が困難であることから、第 2 四半期決算において計上した当該評価益を含めない形でお示ししています。

(注) 上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は、様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上